



森田テック株式会社



自社開発 **高感度** **多品種**

プローブ・センサーの決定版

森田テックのプローブ・センサーは、「近磁界」「電界」「低周波磁界」「音・超音波」「電磁界照射」の測定ごとにバリエーション豊富なラインナップをご用意。EMCノイズスキャナー『WM7000』シリーズと3次元空間電磁界可視化システム『WM9500』に最適化された、オール自社開発のプローブ・センサーです。

近磁界プローブ VF・HC・VCシリーズ



磁界

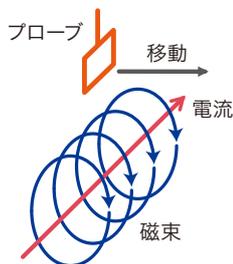
最大8GHz帯域までの測定が可能
水平・垂直コイルを含む充実のラインナップ

コイルの形状やサイズ、向き（水平・垂直）などが異なる11種類の多彩な非接触プローブ。プローブ径や感度、分解能、周波数帯域の異なるプローブを使い分けることが可能で、精度と信頼性の高い測定や可視化が実現できます。

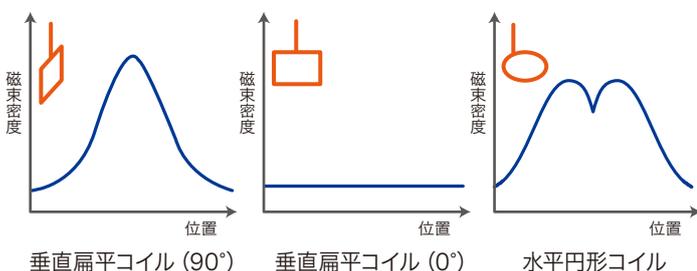


特許
第5574482号

■ 磁界プローブの形状とその特長



■ コイル形状と位置、磁束密度の関係



■ 近磁界プローブ仕様

名称	型番	周波数特性*1	感度*2	分解能*3
垂直扁平0.5mm	VF005	~8GHz	-56dB	0.10mm
垂直扁平1mm	VF010	~6GHz	-47dB	0.17mm
垂直扁平2mm	VF020	~3GHz	-45dB	0.29mm
垂直扁平5mm	VF050	~3GHz	-37dB	0.66mm
垂直扁平10mm	VF100	~2GHz	-34dB	1.26mm
水平円形1mm	HC010	~3GHz	-48dB	0.35mm
水平円形2mm	HC020	~2GHz	-40dB	0.55mm
水平円形5mm	HC050	~1GHz	-30dB	1.22mm
垂直円形1mm	VC010	~3GHz	-46dB	0.39mm
垂直円形2mm	VC020	~2GHz	-37dB	0.60mm
垂直円形5mm	VC050	~1GHz	-30dB	1.20mm

*1 最低使用周波数は、VF100で150kHz

*2 感度はMSL (マイクロスプリットライン) からプローブまでの減衰量 (dB) 1GHz代表値

*3 分解能は最大値と最大値-6dB値間の距離 (半値半幅) 代表値

電界プローブ EHシリーズ



周波数特性10GHzを誇る 広帯域の電界測定を実現

1、2、5mmの先端径のバリエーションを持った電界プローブです。近磁界プローブと筐体形状が同じのため、WM7000シリーズでは簡単に磁界測定との比較が可能。



型番	径	周波数特性
EH010	φ1mm	~10GHz
EH020	φ2mm	~10GHz
EH050	φ5mm	~10GHz

※ 下限周波数は、EH050で150kHz

低周波磁界アクティブセンサー MT-742



10Hz~400kHzの低周波磁界に対応 プリアンプ内蔵アクティブセンサー

10Hzから400kHzまでの周波数範囲をサポート。AC電源周波数付近からの磁界測定やノイズ可視化が実現でき、リチウムイオン電池の低周波パルス充電状況までも可視化します。

2021年販売完了製品



写真右は、3次元空間電磁界可視化システム『WM9500』用マーカールに取り付けたところ



サウンドセンサー MT-772



モータやロボットから発する“異音”や 超音波振動までの音圧レベルの可視化

周波数範囲10Hzから100kHzに対応。超音波領域までの振動、“うなり”による音圧分布を3次元可視化。さらにソナーなどの超音波領域まで“見える化”します。



センサー部にプリアンプを内蔵。50Ω出力インピーダンスとBNCコネクタ出力に対応

φ4mmの小型センサー採用

電磁波照射プローブ MT-676



局所イミュニティ試験が行える 業界初の電磁波照射プローブ

電磁感受性の強い箇所を特定できます。微弱に電磁波を照射することで、電磁波の侵入経路の可視化が可能です。それにより、イミュニティを向上させた設計に寄与します。

現在形状は異なっております。



写真右は、『MT-676』の照射パターン。先端部を中心にRFをスポット照射できるので、局所的に基板やICチップのイミュニティ試験が行える。使用可能周波数は上限3GHz、最大約30Wまで照射可能

■ 製造元



森田テック株式会社



〒206-0804

東京都稲城市百村 2113-4

TEL : 042-401-6330 FAX : 042-401-6331

e-mail : info@morita-tech.co.jp HP : www.morita-tech.co.jp

■ 販売代理店